

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより
令和6年12月6日発行



写真:キジ(湯梨浜町)

12月の主な行事予定

14日(土) 中部ハイスクールフォーラム2024

(鳥取県立美術館)

19日(木) 第2回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議

(倉吉体育文化会館)

ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



下郷地区公民館 (琴浦町)



秋

晴れの下、聖郷小学校のすぐそば、下郷地区公民館に行ってきました。

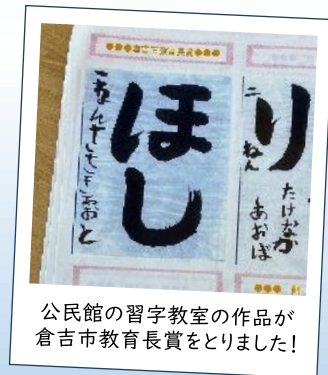
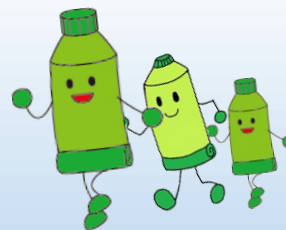
カーナビが「目的地付近に到着しました」と、手前の道路で案内がストップ。そこから先は道路はなく、町のグラウンドを通り抜け、公民館に到着。

公民館訪問で伺ったのですが、たまたまタイミングよく、聖郷小学校のマラソン大会を見ることができました。公民館の前もマラソンコースとなっており、保護者の方、地域の方の応援もあり、とてもにぎやかでした。

秋晴れとマラソン大会で、とてもさわやかな訪問となりました。



子どもたちが、がんばって走る姿、とてもさわやかでした!



公民館の習字教室の作品が倉吉市教育長賞をとりました!



熟

議とは、多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら課題解決をめざす対話のこと。具体的なプロセスとして、

- ①多くの当事者(保護者、教員、地域住民等)が集まって、
- ②課題について学習・熟慮し、討議をすることにより、
- ③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- ④解決策が洗練され、
- ⑤個々人が納得して自分の役割を果たすようになる、

というプロセスのことを言います。
活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

まとめ

熟議とは、
・学校と地域住民で「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことです。



ちゅうぶくん
~師走がやってくる!~



三 朝小・三朝中合同学校運営協議会で熟議! 11月21日(木) 三朝小

新築したばかりの三朝小学校の、広いホールが会場でした。会場に入り、まず驚いたのは、机が最初からグループの形になっていたこと。グループでの熟議を中心に据えていることが、机の形で伺えました。



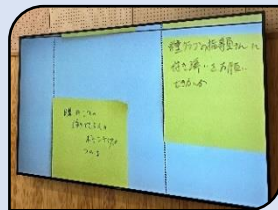
また、今回は小・中学校合同開催ということで町教委社会教育担当の方が進行をされていました。学校側の報告は、小中合わせて10分程度。すぐに熟議に入りました。熟議のテーマは「小学校移転に伴う通学路の安全確保」。どのグループでも地域・学校それぞれの立場で活発な討議がなされました。まとめでは大型スクリーンを活用して、各グループの討議内容を共有しました。



今回の開催までに行われた月一回の担当者連絡会と、直前の事前検討会による入念な下準備が、熱を帯びた活発な討議、まさに熟議につながり、その熟議が子どもたちの安心安全につながっていると感じました。



子どもたちの安心安全や、健やかな成長のために、また学校・地域の絆をより深めていくために、このような取組はとても有効ですね。



【あとがき】「石破さんのクッキー!」

東京出張のお土産に、石破さんのクッキーを買いました! 「え!こんなのあるんだ!」「顔をかじったらいけん気がする」「鳥取でも買えんのかな」「岸田さんのはどうなったんだろう」などなど、皆さんのリアクションが、とても面白い。



大学を東京で過ごした私は、懐かしい所へ色々行きかけたのですが、まず、石破さんのクッキーを買うためだけに、国会議事堂近くのお土産屋さんへ直行!お店で「このクッキーを買いに鳥取から来ました」と伝えると、「あら、鳥根から」と…。石破さんが首相になったのに、鳥取県の認知度は低いんだなど実感しました。

